


次世代内燃機関「スーパー6サイクルエンジン」

<p>概要・品質・性能</p>	<p>高負荷時は4サイクル運転、低負荷時は6サイクル運転をする内燃機関。現在のエンジンの1/2程度のダウンサイジングが可能。 4サイクル内燃機関に2サイクルの自己加圧サイクルを加え、シリンダ内に導入される空気を加圧して加圧チャンバに送り出し、次に加圧チャンバ内の空気を再度シリンダ内に吸入して圧縮・燃焼・排気する仕組み。独自開発のボールカムによるバルブの開閉動作によってサイクル運転が切り替えられる。クランクシャフトが3回転して2回燃焼する。これにより、高負荷時におけるトルク低下を抑制しながら低負荷時における燃料消費の低減や環境負荷の抑制が図れる。燃料はガソリン、ディーゼル、シェールガス、LPG、さらにはエタノールなどが使える。現在販売されている内燃機関への組み入れが可能でビッグパワー、ビッグトルク、リーンバーンが得られる。</p>	
<p>用途</p>	<p>(1) ハイブリッド方式の内燃機関 (2) 一般の乗用車のエンジン (3) 大型のトラックやバスのエンジン</p>	<p>技術移転</p> <p>(1) 形態 特許実施権供与 (2) 相手先 問わない (3) 地域 国内・海外いずれでもよい</p>
<p>実用化・情報</p>	<p>[試作・実験] 完了 [製造・販売実績] 無し [技術情報の提供] 公開特許公報、技術資料 [情報提供者] (株)所沢自動車学校 代表取締役社長 澤田 福衛 [連絡先] (公財)りそな中小企業振興財団 TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546</p>	<p>特許等</p> <p>特許出願中 公開番号：特開2014-58949 公開日：平成26年4月3日 出願番号：特願2012-205815 出願日：平成24年9月19日 出願人：佐藤 茂 発明者：佐藤 茂／尾上 明子 名称：内燃機関及び駆動システム</p>